

第 182 回 必須アミノ酸研究協議会 プログラム

日時：平成 18 年 3 月 3 日（金）午前 11 時

場所：東京大学 農学部 2 号館 化学第 1 講義室  
（〒113-8657 東京都文京区弥生 1-1-1）

1. 骨芽細胞特異的 VDR 遺伝子欠損マウスの作製とその骨量増加機構解析 (10 分)  
加藤茂明、吉沢達也、山本陽子  
（東京大学 分子細胞生物学研究所 / 科学技術振興機構・ERATO）
2. レチノイン酸受容体コンディショナル変異マウスにおける脳内レチノイン酸情報伝達系活性化による不安行動の亢進 (15 分)  
喜田聡、内田周作、崔泰樹、宮尾貴久、本間清一、舩重正一<sup>1</sup>  
（東京農業大学応用生物科学部 バイオサイエンス学科、<sup>1</sup>東京聖栄大学 健康栄養）
3. 小腸胆汁酸結合蛋白質 I-BABP による核内受容体 FXR および胆汁酸トランスポーター IBAT の活性化 (20 分)  
佐藤隆一郎、古屋徳彦  
（東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻）
4. トリプトファン代謝酵素の翻訳後修飾：ニトロ化とインドールアミノ酸素添加酵素  
藤垣英嗣、齋藤邦明 (12 分)  
（岐阜大学大学院医学系研究科 病態情報解析医学）
5. 3-メチルヒスチジンをを用いた動静脈濃度差法による筋原線維タンパク質分解速度の測定 (10 分)  
菅原貴征、長澤孝志、伊藤芳明、西澤直行、鈴木裕美<sup>1</sup>、小林久峰<sup>1</sup>  
（岩手大学農学部、<sup>1</sup>味の素（株）アミノサイエンス研究所 応用研究部）
6. 坐骨神経切除による筋萎縮における膜蛋白質オステオアクチビンの機能解析  
二川 健、不老地治美、田村斉子、平坂勝也、岸 恭一 (15 分)  
（徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部 生体栄養学）
7. ラット肝臓における脂肪酸不飽和化酵素の発現と作用に及ぼす食事性タンパク質の影響 (15 分)  
實方綾子、岩本和香子、佐藤匡央、今泉勝己  
（九州大学大学院農学研究院 栄養化学分野）

8. グリシンによる CYP7A1 遺伝子発現の誘導機構 (10分)  
小田裕昭、藤吉智治、岩田剛幸、荒川真悟  
(名古屋大学大学院生命農学研究科 栄養生化学研究室)
9. ラットの血漿ホモシステイン濃度に及ぼす食餌タンパク質レベルの影響 (12分)  
杉山公男、大川 洋、森田達也  
(静岡大学農学部 応生化)
10. 高たんぱく質食摂取による新規腓トリプシノーゲンの誘導 (15分)  
原 博、杵 勝  
(北海道大学大学院農学研究科)
11. 精神科入院患者の栄養状態の検討 - 蛋白質代謝を中心に - (第1報) (10分)  
橋詰直孝、本三保子、五十嵐紘美、羽金淑江<sup>1</sup>  
(和洋女子大学家政学部 健康栄養学科、<sup>1</sup>会津西病院メンタルケア科)
12. ストレス時の主要栄養素選択摂取調節と HPA 系の関係 (10分)  
田中理子、宮長香世、徳田紗代子、小林ゆき子、木戸康博  
(京都府立大学人間環境学部 食保健学科)
13. グルタミン酸に暴露されたアストロサイトからのグルタミン及びL-セリンの輸送 (10分)  
小林葉子、横越英彦  
(静岡県立大学大学院生活健康科学研究科 栄養化学研究室)

委員会： 12時～13時30分、懇親会： 発表終了後(17時頃から19時頃までを予定)